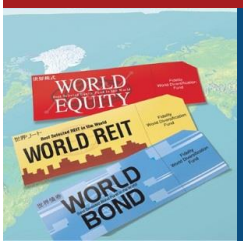


月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）

設定日：2006年3月9日
信託期間：原則として無期限
決算日：原則として毎年1、3、5、7、9、11月の各10日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE友だち追加はこちらから＞＞＞
フィデリティ投信LINE公式アカウントでは、マーケットに関する情報をお届けしています。

■基準価額・純資産総額の推移

	2021/6/30	2021/5/31
基準価額	10,329 円	10,257 円
純資産総額	73.5 億円	73.3 億円
累積投資額	18,785 円	18,655 円

基準価額（月中）	高値	10,411 円	（6月15日）
	安値	10,230 円	（6月1日）
基準価額（設定来）	高値	11,301 円	（2007年2月23日）
	安値	5,517 円	（2009年1月26日）
累積投資額（設定来）	高値	18,935 円	（2021年6月15日）
	安値	6,527 円	（2009年1月26日）

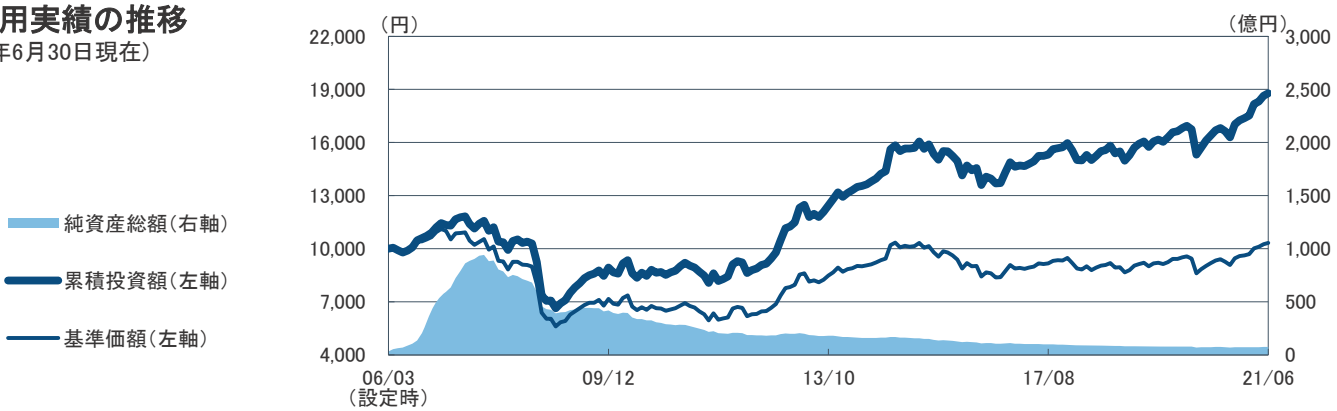
■累積リターン

（2021年6月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.70%	3.37%	8.83%	14.47%	23.18%	87.85%

■運用実績の推移

（2021年6月30日現在）



※基準価額は、運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移（1万口当たり／税引前）

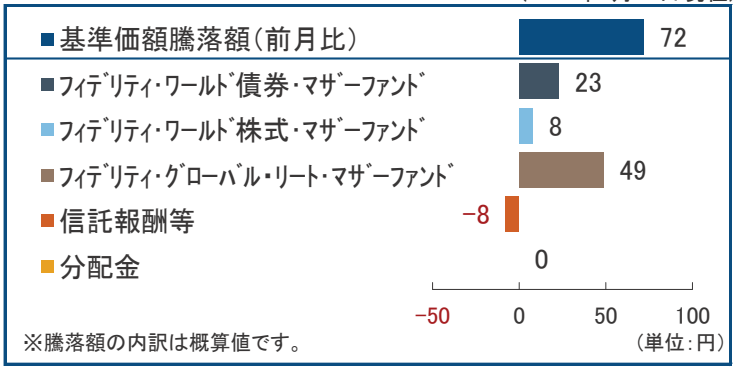
（2021年6月30日現在）

決算期	日付	分配金
第86期	2020年7月10日	30 円
第87期	2020年9月10日	30 円
第88期	2020年11月10日	30 円
第89期	2021年1月12日	30 円
第90期	2021年3月10日	30 円
第91期	2021年5月10日	30 円
設定来累計		5,031 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

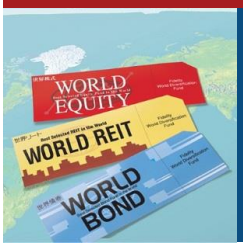
■基準価額の月間騰落額の内訳

（2021年6月30日現在）



※騰落額の内訳は概算値です。

※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

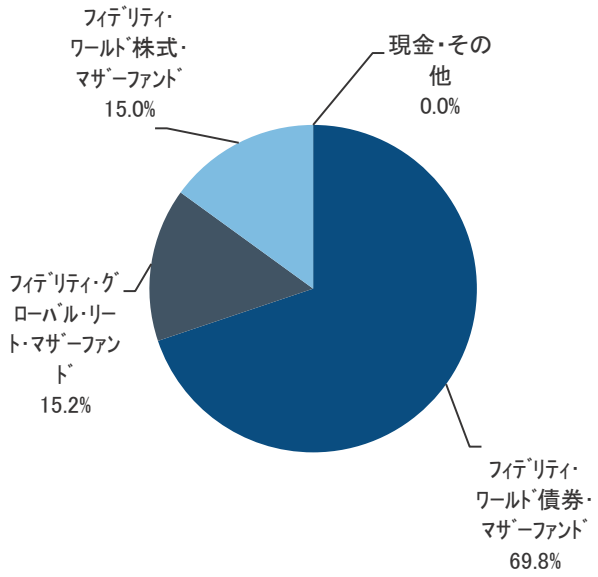
Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）

（別途記載がない限り2021年5月末現在）

■ポートフォリオの状況



※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

■各マザーファンドの運用実績

（2021年6月30日現在）

◆フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.32%	2.05%	4.30%	8.83%	19.42%	91.21%

◆フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.52%	3.83%	15.17%	28.23%	44.92%	161.56%

◆フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.15%	10.67%	28.79%	36.54%	35.76%	97.03%

◆国・地域別配分

アメリカ	33.8%
ドイツ	16.7%
イギリス	12.8%
オランダ	7.2%
フランス	3.1%
スイス	2.2%
日本	2.2%
ウガンダ	1.6%
イタリア	1.5%
スペイン	1.4%
その他	16.7%
現金・その他	0.6%

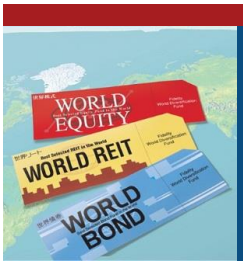
◆通貨別配分

アメリカ・ドル	48.7%
ユーロ	34.0%
イギリス・ポンド	8.9%
日本・円	2.7%
ウガンダ・シリング	1.6%
スイス・フラン	1.1%
その他	3.0%

（対純資産総額比率）

※国・地域別配分は、各マザーファンドの国・地域別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドについては、組入れているリートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※通貨別配分は、各マザーファンドの通貨別配分を合算したものです。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）

設定日：2006年3月9日
信託期間：原則として無期限
決算日：原則として毎年1、3、5、7、9、11月の各10日（休業日の場合は翌営業日）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

LINE友だち追加はこちらから＞＞＞
フィデリティ投信LINE公式アカウントでは、マーケットに関する情報をお届けしています。

■基準価額・純資産総額の推移

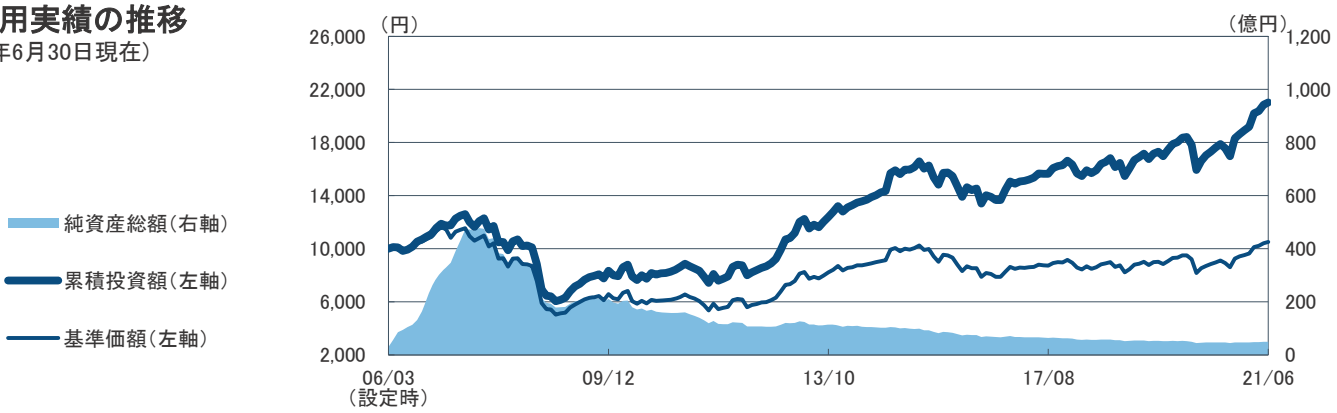
	2021/6/30	2021/5/31
基準価額	10,504 円	10,422 円
純資産総額	49.2 億円	48.9 億円
累積投資額	21,020 円	20,856 円

基準価額（月中）	高値	10,633 円	（6月17日）
	安値	10,376 円	（6月1日）
基準価額（設定来）	高値	11,871 円	（2007年2月23日）
	安値	4,820 円	（2009年3月10日）
累積投資額（設定来）	高値	21,278 円	（2021年6月17日）
	安値	5,871 円	（2009年3月10日）

■累積リターン
（2021年6月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.79%	4.01%	12.75%	21.36%	32.05%	110.20%

■運用実績の推移
（2021年6月30日現在）



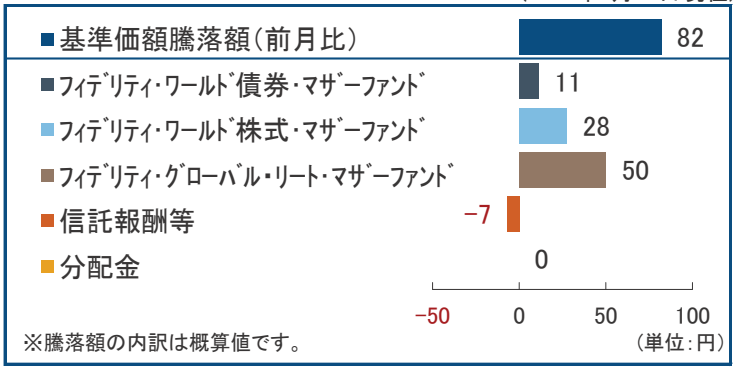
※基準価額は、運用管理費用（後述の「運用管理費用（信託報酬）」参照）控除後のものです。
※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■分配の推移（1万口当たり／税引前）
（2021年6月30日現在）

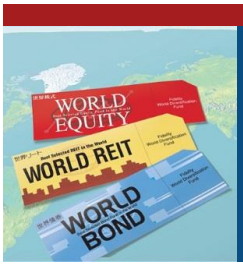
決算期	日付	分配金
第86期	2020年7月10日	35 円
第87期	2020年9月10日	35 円
第88期	2020年11月10日	35 円
第89期	2021年1月12日	35 円
第90期	2021年3月10日	35 円
第91期	2021年5月10日	35 円
設定来累計		5,693 円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

■基準価額の月間騰落額の内訳
（2021年6月30日現在）



※基準価額の月間騰落額の内訳は概算値であり、実際の基準価額の変動を必ずしも正確に説明するものではありません。あくまで参考情報として提供することのみを目的としており、将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

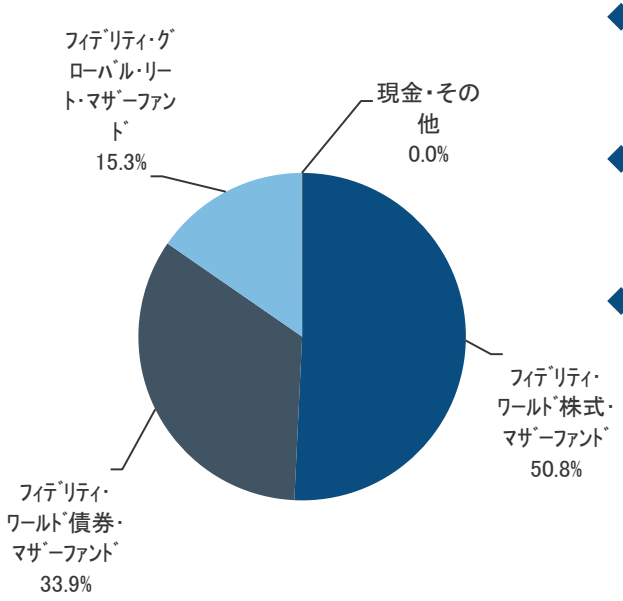
Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）

（別途記載がない限り2021年5月末現在）

■ポートフォリオの状況



■各マザーファンドの運用実績

（2021年6月30日現在）

◆フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.32%	2.05%	4.30%	8.83%	19.42%	91.21%

◆フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
0.52%	3.83%	15.17%	28.23%	44.92%	161.56%

◆フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
3.15%	10.67%	28.79%	36.54%	35.76%	97.03%

※未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

◆国・地域別配分

アメリカ	35.2%
イギリス	13.2%
ドイツ	11.6%
オランダ	5.6%
フランス	5.3%
スイス	4.2%
日本	3.7%
スペイン	2.9%
フィンランド	1.9%
イタリア	1.8%
その他	13.4%
現金・その他	1.1%

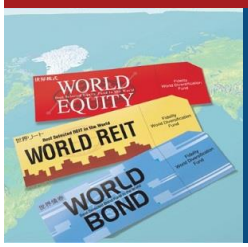
◆通貨別配分

アメリカ・ドル	44.6%
ユーロ	31.4%
イギリス・ポンド	9.4%
日本・円	4.6%
スイス・フラン	3.6%
韓国・ウォン	1.4%
台湾・ドル	1.3%
スウェーデン・クローナ	1.2%
その他	2.5%

（対純資産総額比率）

※国・地域別配分は、各マザーファンドの国・地域別配分を合算したものです。その内、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドについては、組入れているリートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※通貨別配分は、各マザーファンドの通貨別配分を合算したものです。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

（2021年6月30日現在）

■コメント

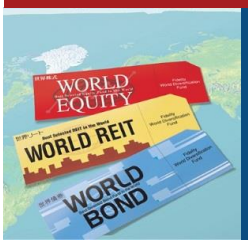
世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で＋2.28%(円ベース)。
【米国株式】月間騰落率は、S&P500種指数が＋2.22%、ダウ工業株30種平均は－0.08%、ナスダック指数は＋5.49%。米国株式は一部弱かったものの堅調でした。米国では経済の活動再開の動きが広がるなかで、インフレが潜在的なリスクとして意識される一方、インフレ懸念は一時的に留まるとの見方も強く、市場の物色テーマは目まぐるしく変化しました。米国の金融当局の幹部からは緩和縮小の前倒しを示唆する発言があった一方で、別の幹部からはインフレ懸念を打ち消す発言なども相次ぎ、金融緩和の段階的縮小や利上げ開始時期を巡る思惑が交錯しました。さらに、新型コロナについては感染力の強い変異種が拡大して新たな不安材料となったものの、経済正常化への期待も根強く、米国株式相場は総じて堅調に推移しました。
【欧州株式】MSCIヨーロッパ・インデックスの月間騰落率は＋1.64%。月上旬は、英国を中心とした新型コロナのデルタ株の感染拡大を受けて市場は下落する場面もありましたが、米国が多数の国々への渡航規制を緩和したことなどが好感され、堅調に推移しました。月中旬は、デルタ株の感染拡大により行動規制解除の遅延リスクが懸念されたほか、米金融政策の見通しに関し不透明感が浮上したことが嫌気され、市場は弱含みでの推移となりました。月下旬は、企業買収関連のニュースが投資家心理を下支えしたほか、一部の欧州経済指標が良好な内容であったことから、市場は底堅い動きとなりました。英中銀が金融政策委員会（MPC）で政策金利の据え置きを発表し、早期金融引き締めを否定したことも好材料となりました。
【アジア株式】MSCI AC ファー・イースト・インデックス（除く日本）の月間騰落率は＋0.65%。中国は上昇しました。新型コロナ変異株による感染拡大が重石となりましたが、米長期金利の低下や米国株式の堅調な推移が投資家心理の下支えとなり、上昇しました。
【日本株式】TOPIX（配当込）は＋1.19%。当月の東京株式市場は、米国における早期利上げに対する警戒感から一時大きく下げる場面もありましたが、すぐに値を戻しました。
コロナワクチン接種の進展を背景とした経済正常化への期待や、米国株の堅調な動きなどが支えとなり、株価は堅調に推移して始まりましたが、日米の中央銀行会合の開催を月半ばに控え、徐々に様子見姿勢を強めていきました。FOMC（米連邦公開市場委員会）の結果、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げ時期が2024年から2023年へと前倒しされる見通しが示されると、株価は弱含み、そしてFRBの一部高官の発言を受け、利上げ時期が2022年へとさらに前倒しされるとの可能性が浮上すると、21 日の日本株式市場は急落し、日経平均株価は1,000円近く値を下げました。しかし翌日には急回復し、その後は早期利上げに対する過度な懸念が後退する中で、株価は狭いレンジで推移して月を終えました。

世界債券市場はFTSE世界国債インデックスで－0.32%（円ベース）。
【海外債券】米国債相場は上昇。米10年国債利回りは前月の1.59%から1.44%へ。その他先進国債も上昇。ユーロ建10年国債利回りは前月の－0.26%から－0.36%へ、イギリスの10年国債利回りは0.80%から0.72%へ、カナダの10年国債利回りは1.42%から1.34%へ。
【ハイ・イールド債券】米国は、ICE BofA USハイ・イールド・コンストレインド・インデックスで＋1.36%。欧州は、ICE BofA グローバル・ハイ・イールド・ヨーロピアン・イシュアーズ・コンストレインド・インデックス（レベル4-20%）（ユーロヘッジ・ベース）で＋0.73%。
【エマージング債券】JPモルガン・EMBIグローバルの月間リターンは＋0.89%。

世界リート市場は、FTSE EPRA/NAREIT 先進国REITインデックスで＋2.06%（円ベース）。
月上旬は、新型コロナワクチンの普及や行動制限緩和の広がりから経済正常化期待が高まり上昇しました。月中旬は、発表された5月消費者物価指数（CPI）の上昇から、物価上昇が意識されたものの、市場への影響は限定的でした。その後、米連邦公開市場委員会（FOMC）の結果がタカ派的となったことを受け、市場は調整しました。月下旬は、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言から早期の利上げ観測が後退し、買い安心感が広がり、米国リートは緩やかな上昇基調となりました。業種別では、倉庫、データセンターが上昇し、林業、複合施設が下落しました。

【為替】
米ドル／円相場は、約0.75%の円安（1米ドル＝109.76円→110.58円）。
ユーロ／円相場は、約1.62%の円高（1ユーロ＝133.74円→131.58円）。
（※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替レートは、三菱UFJ銀行発表値を使用。）

※コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。また、為替相場等の影響により当ファンドおよび指数等の動向と異なる場合があります。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）

愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

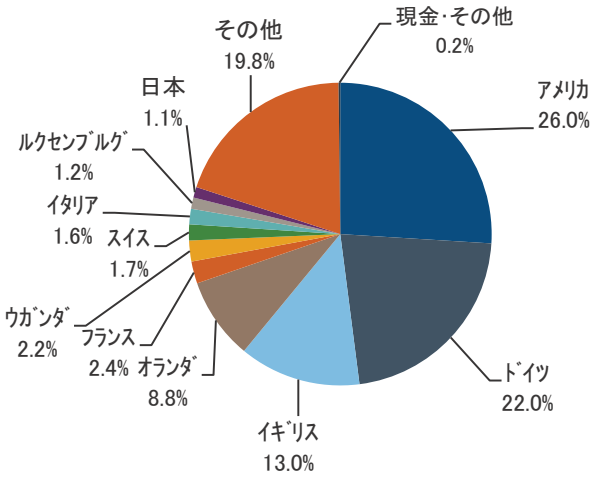
2021年7月

【ご参考】ポートフォリオの状況

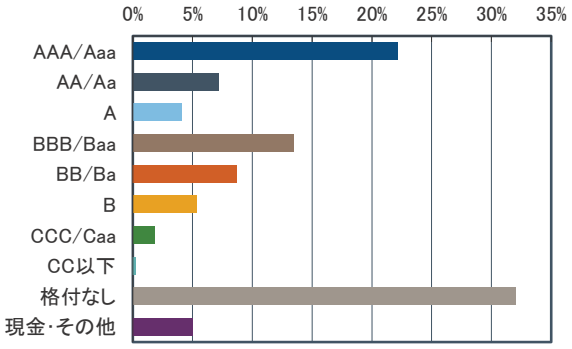
（別途記載がない限り2021年5月末現在）

■フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド

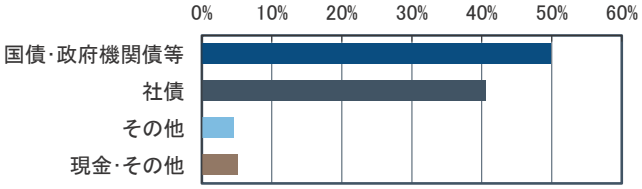
◆国・地域別配分



◆組入債券格付別配分



◆組入債券種別配分



◆組入投資信託の組入比率

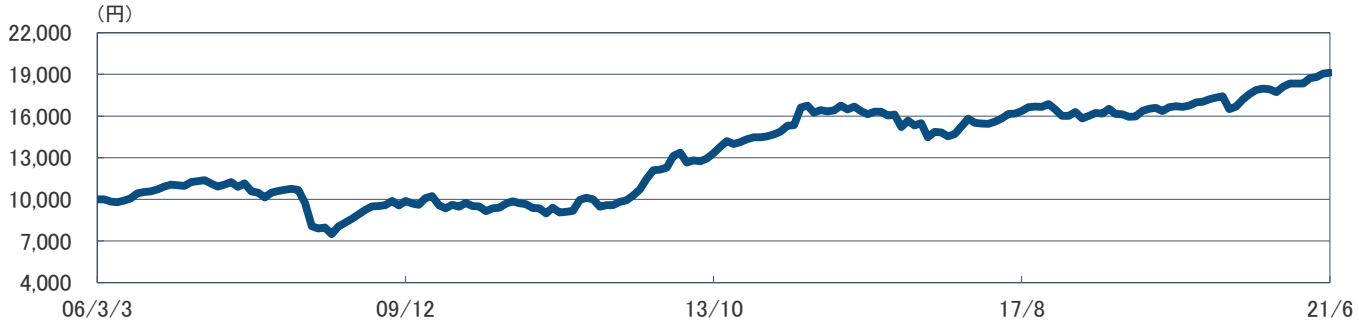
ファンド	組入比率
フィデリティ・ファンズ－ユーロ・ボンド・ファンド	35.7%
フィデリティ・ファンズ－USドル・ボンド・ファンド	34.3%
フィデリティ・ファンズ－エマージング・マーケット・デット・ファンド	10.0%
フィデリティ・インスティテューショナル・UK・アグリゲート・ボンド・ファンド	8.0%
フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド	5.1%
フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（適格機関投資家専用）	4.9%

（対純資産総額比率）

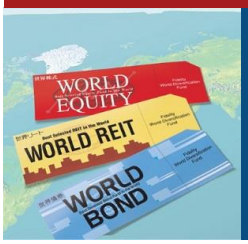
※格付は、S&P社もしくはムーディーズ社による格付を採用し、S&P社の格付を優先して採用しています。（「プラス／マイナス」の符号は省略しています。）なお、両社による格付のない場合は、「格付なし」に分類しています。

◆基準価額の推移

（2021年6月30日現在）



※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

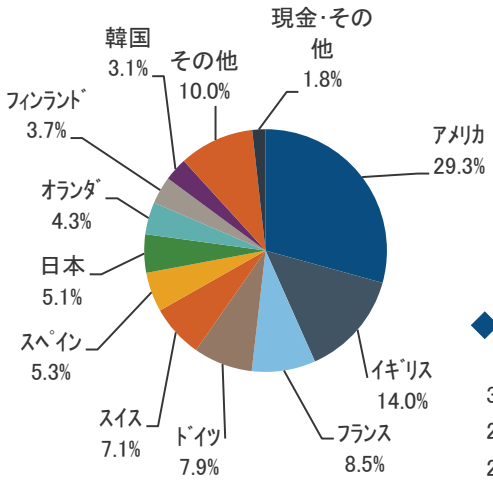
Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

■フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド

（別途記載がない限り2021年5月末現在）

◆国・地域別配分



◆組入投資信託の組入比率

ファンド	組入比率
フィデリティ・ファンズ－グローバル・ディビデンド・ファンド	99.8%
フィデリティ・ファンズ－USドル・キャッシュ・ファンド	0.1%

（対純資産総額比率）

◆基準価額の推移

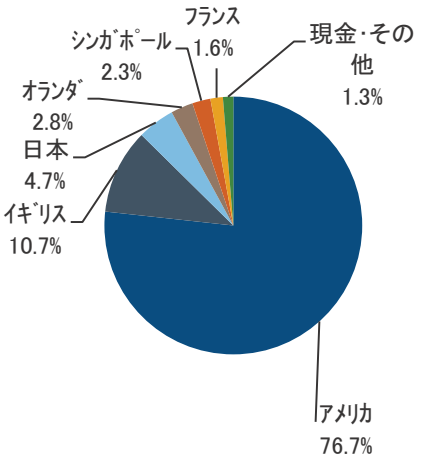
（2021年6月30日現在）

※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

■フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド

（別途記載がない限り2021年5月末現在）

◆国・地域別配分



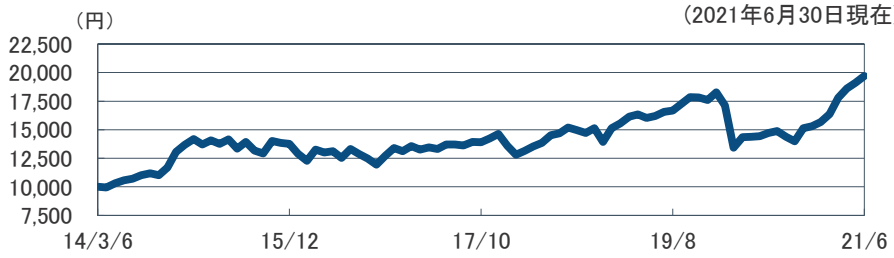
◆組入上位10銘柄　（組入銘柄数： 22 ）

	銘柄	組入比率
1	プロロジス	9.8%
2	デジタル・リアルティー・トラスト	7.7%
3	アメリカン・ホームズ4レント	6.6%
4	カムデン・プロパティー・トラスト	6.4%
5	エクイティ・ライフスタイル・プロパティーズ	6.4%
6	ヘルスピーク・プロパティーズ	6.1%
7	インビテーション・ホームズ	6.1%
8	エクイティ・レジデンシャル	5.9%
9	パブリック・ストレージ	5.4%
10	ヘルスケア・リアルティ・トラスト	4.9%
	上位10銘柄合計	65.2%

（対純資産総額比率）

◆基準価額の推移

（2021年6月30日現在）

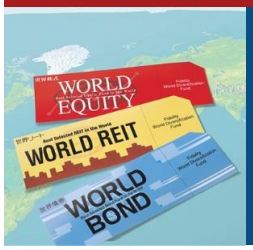


※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

※国・地域別配分は、各リートファンドの登録国・地域に基づき分類したものです。

※銘柄はご参考のため、英文表記の一部をカタカナで表記しております。実際の発行体名と異なる場合があります。

※フィデリティ投信が作成時点で取得可能な投資対象ファンドの開示資料のデータに基づき作成しております。ファンドによってはデータの分類方法や評価基準日が異なる場合があるため、概算・推定値となります。掲載データに関する正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。あくまでもファンドの概略をご理解いただくことを目的として作成されておりますことにご留意ください。



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

■組入投資信託の概要と累積リターン

（2021年6月末現在）

◆世界債券

・フィデリティ・インスティテューショナル・UK・アグリゲート・ボンド・ファンド（英国籍証券投資法人）

主として英国国債および非英国国債に投資し、インカムの確保と元本の成長を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−0.3%	2.5%	5.4%	13.6%

・フィデリティ・ファンズ－ユーロ・ボンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主としてユーロ建ての債券に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−1.1%	0.3%	0.7%	8.6%

・フィデリテイ・USハイ・イールド・ファンド（適格機関投資家専用）（国内証券投資信託）

フィデリティ・USハイ・イールド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米ドル建ての高利回り社債（ハイ・イールド債券）を主要な投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行なうことを基本とします。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
2.6%	3.8%	14.0%	21.5%

・フィデリティ・ファンズ－ヨーロピアン・ハイ・イールド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として、本店所在地が西ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、東ヨーロッパ（ロシアを含む）にあるか、活動の大半がそれらの地域で営まれている発行体の高利回り事業債（ハイ・イールド債券）に投資を行ない、高水準のインカムの確保と値上り益の追求を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
−1.0%	3.3%	7.1%	21.4%

・フィデリティ・ファンズ－エマージング・マーケット・デット・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

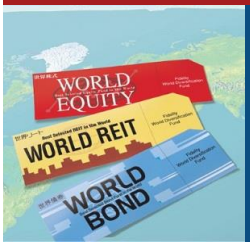
主としてエマージング債券に投資し、インカムの確保と値上り益の追求を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
2.1%	5.2%	7.6%	15.0%

・フィデリティ・ファンズ－USドル・ボンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として米ドル建ての債券に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
2.9%	3.2%	5.9%	2.9%



月次運用レポート

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型）
愛称： 3つのチカラ

追加型投信／内外／資産複合

Fidelity INTERNATIONAL

2021年7月

■組入投資信託の概要と累積リターン

（2021年6月末現在）

◆世界株式

・フィデリティ・ファンズ－グローバル・ディビデンド・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として世界の高配当株式に投資し、長期的な元本成長とインカムの確保を目指します。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
0.7%	3.3%	14.3%	26.0%

・フィデリティ・ファンズ－USドル・キャッシュ・ファンド（ルクセンブルグ籍証券投資法人）

主として米ドル建ての債券等に投資を行ないます。

直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
1.4%	0.4%	7.4%	2.5%

◆世界リート

・フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド（国内証券投資信託）

主として日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託（リート）（これに準ずるものを含みます。）に投資を行ない、配当等収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

※過去の運用実績は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。
※あくまでも参考として情報提供をすることを目的としており、上記個別ファンド売買を推奨するものではありません。また日本での販売を行なっていないファンドも含まれます。
※作成時点で取得可能なデータに基づき作成しております。
※累積リターンは円ベースです。基準日時点で保有がある各組入投資信託につき、組入開始以降に計算されたものを掲載しております。

※本資料においてグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

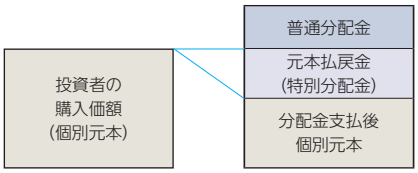
収益分配金に関する留意事項

1 ファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、それぞれの投資者ご自身の個別元本の一部払戻しに相当する場合があります。
2 分配金は預貯金の利息とは異なり、分配金支払い後の純資産は減少し、基準価額の下落要因となります。
3 分配金は計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落します。

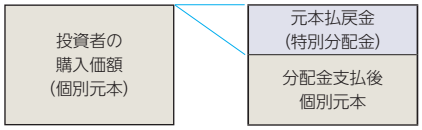
分配方針や頻度の異なるコースが存在する場合は、投資者は自身の選好に応じて投資するコースを選択することができます。販売会社によってはコース間でスイッチングが可能です。

1 投資者のファンドの購入価額によっては分配金はその支払いの一部、または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
ファンドの購入価額は、個々の投資者によって異なりますので、投資期間全体での損益は、個々の投資者によって異なります。

分配金の一部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合



●「個別元本」とは、追加型投資信託の収益分配金や解約(償還)時の収益に対する課税計算をする際に用いる個々の投資者のファンドの購入価額のことを指します。
●「普通分配金」とは、個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
●「元本払戻金(特別分配金)」とは、個別元本を下回る部分からの分配金です。実質的に元本の払戻しに相当するため、非課税扱いとなります。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

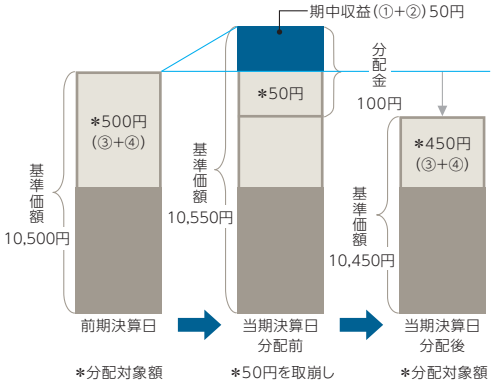
※普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

2 分配金は、預貯金の利息とは異なります。分配金の支払いは純資産から行なわれますので、分配金支払い後の純資産は減少することになり、基準価額が下落する要因となります。

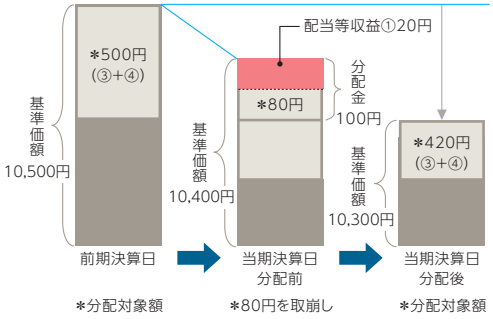
投資信託で分配金が支払われるイメージ

3 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の利子・配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。計算期間におけるファンドの運用実績は、期中の分配金支払い前の基準価額の推移および収益率によってご判断ください。
投資信託は、当期の収益の他に、ファンドの設定から当期以前の期間に発生して分配されなかった過去の収益の繰越分等からも分配することができます。

前期決算から基準価額が上昇
当期計算期間の収益がプラスの場合



前期決算から基準価額が下落
当期計算期間の収益がマイナスの場合



※分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、収益分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

ファンドの特色

1 主として、フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド、フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンドの各受益証券への投資を通じて、世界（日本を含みます。）の債券、株式、不動産投資信託（リート）へ実質的に分散投資を行ない、主として配当等収入を確保することを目的に運用を行ない、長期的な投資信託財産の成長を目指します。

2 フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド、フィデリティ・ワールド株式・マザーファンドの運用は、国内外の投資信託証券＊（投資対象ファンド）への投資を通じて行ない、ファンド分散・地域（種別）分散を図ります。

3 各マザーファンドへの基本配分は、主として各資産の利回り水準、流動性、リスク・リターン特性等を考慮して配当等収入の確保とリスクの分散を目指して決定します。また運用環境の変化により配分比率を調整することがあります。

4 各マザーファンド受益証券への資産配分は、概ね投資信託財産の純資産総額に対して以下の比率を基本投資割合とします。

	フィデリティ・ワールド債券・マザーファンド	フィデリティ・ワールド株式・マザーファンド	フィデリティ・グローバル・リート・マザーファンド
フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型）	70%	15%	15%
フィデリティ・世界分散・ファンド（株式重視型）	35%	50%	15%

5 隔月決算を行ない、基準価額の水準、市況動向を勘案して分配を行ないます。分配は、利子・配当等収入の他、売買益（評価益を含みます。）からも行ない、安定的な分配を目指します。

6 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。

※資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。
＊ FILリミテッドおよびFIAM LLCならびにそれらの関連会社が運用する投資信託証券をいいます。

[運用の委託先]

ファンドの運用にあたっては、次の委託先に基本資産配分の運用の指図に関する権限を委託します。

委託先名称	委託する業務の内容
FILインベストメント・マネジメント（香港）・リミテッド	委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、ファンドの基本資産配分に関する運用の指図を行ないます。

投資リスク

基準価額の変動要因

投資信託は預貯金と異なります。
ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。
ファンドが有する主なリスク等（ファンドがマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドが有するリスク等を含みます。）は以下の通りです。

主な変動要因

価格変動リスク	基準価額は有価証券等の市場価格の動きを反映して変動します。有価証券等の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。
信用リスク	有価証券等への投資にあたっては、発行体において利払いや償還金の支払いが遅延したり、債務が履行されない場合があります。なお、ハイ・イールド債およびエマージング・マーケット債に投資を行なう場合には、上位に格付された債券に比べて前述のリスクが高くなります。
金利変動リスク	公社債等は、金利の変動を受けて価格が変動します。一般に金利が上昇した場合には債券価格は下落し、金利が低下した場合には債券価格は上昇します。
為替変動リスク	外貨建の有価証券等に投資を行なう場合は、その有価証券等の表示通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

デリバティブ（派生商品）に関するリスク	ファンドは、有価証券先物、各種スワップ、差金決済取引等のデリバティブ（派生商品）を用いることがあります。デリバティブの価格は市場動向などによって変動するため、基準価額の変動に影響を与えます。デリバティブが店頭取引の場合、取引相手の倒産などにより契約が履行されず損失を被る可能性があります。デリバティブの利用はヘッジ目的に限定されず、運用の効率を高めたり、超過収益を得るための手段として用いられる場合もあります。デリバティブは基礎となる資産、利率、指数等の変動以上に値動きする場合があります。また、デリバティブ以外の資産の価格の動きに加えて、デリバティブの価格の動きがファンドの基準価額の下落要因となる場合があります。
リートに関わるリスク	リートへの投資においては、保有不動産の評価額、リートに関する規制（法律、税制、会計等）、不動産市況（空室率の変動等）等、リート固有の価格変動要因の影響を受けます。
エマージング市場に関わるリスク	エマージング市場（新興諸国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券の価格変動が大きくなる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

お申込みメモ

商品の内容やお申込みの詳細についての照会先	委託会社	フィデリティ投信株式会社
	インターネットホームページ	https://www.fidelity.co.jp/
	フリーコール	0120-00-8051（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）
	上記または販売会社までお問い合わせください。	
購入単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。	
購入代金	販売会社が定める期日までに、お申込みの販売会社にお支払いください。	
換金単位	販売会社がそれぞれ定める単位とします。	
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。	
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社にてお支払いします。	
申込締切時間	原則として、販売会社の営業日の午後3時までに、販売会社が受付けたものを、当日のお申込み受付分とします。	
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日、英国における休業日及び12月25日においては、スイッチングを含めお申込みの受付は行ないません。	
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行なうため、１日１件５億円を超えるご換金はできません。また、大口のご換金には別途制限を設ける場合があります。	
信託期間	原則として無期限（2006年３月９日設定）	
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が30億口を下回った場合等には、繰上償還となる場合があります。	
決算日	原則、毎年１月、３月、５月、７月、９月及び11月の各10日 ※決算日にあたる日が休業日となった場合、その翌営業日を決算日とします。	
ベンチマーク	ファンドにはベンチマークを設けません。	
収益分配	年6回の決算時に、収益分配方針に基づいて、分配を行ないます。ただし、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。 販売会社との契約によっては、収益分配金は、税引き後無手数料で再投資が可能です。 ※毎年３月および９月に到来する計算期末においては、基準価額水準等を勘案し、安定分配相当額に加えて分配対象額の範囲から、委託会社が決定する額を付加して分配を行なう場合があります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、「ジュニアNISA」の適用対象です。	
スイッチング	販売会社によっては、債券重視型・株式重視型間にてスイッチングが可能です。スイッチングに伴うご換金にあたっては、通常のご換金と同様に信託財産留保額及び税金がかかります。 ※スイッチングの取扱い内容等について、詳しくは、販売会社へお問い合わせください。	

ファンドの費用・税金

購入時手数料	**3.30%（税抜3.00%）を上限**として販売会社が定めます。 ※詳しくは、お申込みの販売会社にお問い合わせください。
換金時手数料	ありません。
スイッチング手数料	販売会社によってはスイッチング手数料がかかる場合があります。詳しくは、販売会社へお問い合わせください。
信託財産留保額	基準価額に対し**0.20%**です。
運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に対し、年0.858%（税抜0.78%）の率を乗じた額が運用管理費用（信託報酬）として毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、ファンドの毎計算期末または信託終了のときにファンドから支払われます。

フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）

追加型投信／内外／資産複合

投資対象とする投資信託証券*	債券重視型	株式重視型
	年率0.45%±0.20%（税込）程度	年率0.50%±0.20%（税込）程度
実質的な負担*	債券重視型	株式重視型
	年率1.31%±0.20%（税込）程度	**年率1.36%±0.20%（税込）程度**
その他費用・手数料	組入有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用等は、ファンドからその都度支払われます。ただし、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を表示できません。	
	法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等は、ファンドの純資産総額に対して年率0.10%（税込）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎年5月及び11月に到来する計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	
税金	原則として、収益分配時の普通分配金ならびにご換金時の値上がり益および償還時の償還差益に対して課税されます。 税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合があります。	

*この値は、あくまでも目安であり、投資対象ファンドの変更や組入状況等により変動します。

※当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ファンドの費用・税金の詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社	**フィデリティ投信株式会社** 【金融商品取引業者】関東財務局長（金商）第388号 【加入協会】一般社団法人　投資信託協会　　一般社団法人　日本投資顧問業協会 投資信託財産の運用指図などを行ないます。
受託会社	**三菱UFJ信託銀行株式会社** 投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。
運用の委託先	**FILインベストメント・マネジメント（香港）・リミテッド** 委託会社より運用の指図に関する権限の委託を受け、ファンドの基本資産配分に関する運用の指図を行ないます。
販売会社	販売会社につきましては、委託会社のホームページ（アドレス：https://www.fidelity.co.jp/）をご参照または、フリーコール：0120-00-8051（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）までお問い合わせいただけます。 ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払いなどを行ないます。

- 当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。また、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 「フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型／株式重視型）」がマザーファンドを通じて主に投資を行なう投資対象ファンドは、主に国内外の債券、株式および不動産投資信託（リート）を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ファンドおよびマザーファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、リートおよびその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入れた債券、株式、リートおよびその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- 投資信託説明書（交付目論見書）については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ（https://www.fidelity.co.jp/）をご参照ください。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りいたします。

■フィデリティ・世界分散・ファンド（債券重視型/株式重視型） 販売会社情報一覧（順不同）

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第6号	○		○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○			
株式会社伊予銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金）第2号	○		○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第15号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○		○	
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第65号	○			○
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○			
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第11号	○		○	
四国アライアンス証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長（金商）第21号	○			
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○			
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第37号	○			
十六TT証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第188号	○			
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第578号	○		○	○
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第114号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○			○
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長（金商）第75号	○			
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第1977号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第5号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第7号	○		○	
ほくほくTT証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長（金商）第24号	○			
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・コーポレイション・リミテッド（香港上海銀行）*	登録金融機関	関東財務局長（登金）第105号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第94号	○	○	○	○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第36号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
株式会社琉球銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金）第2号	○			
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第8号	○			

*株式重視型のみのお取扱いとなります。

＊上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。